

福島南ロータリークラブ会報



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2530地区ガバナー 芳賀 裕

福島南ロータリークラブ 会長 鈴木 光一 幹事 菅野 良二
目標「奉仕の心で人との繋がりを大切にしよう」

会員/75名 出席/35歳名 出席率/46.67%

メークアップ/40名 修正/75名 修正後率/100%

会長挨拶 鈴木 光一 会長



本日の来訪者は福島大学経済経営学類助教・国際交流センター副センター長のマクマイケル・ウィリアム様とメキシコからの交換留学生・ミゲイル・フィリップ・オスナ・ガルシアさんです。9月14日(土)職業奉仕委員会セミナーがユラックス熱海で午後1時から開催されました私と・赤間 浩一 職業奉仕委員長と出席致しました、又一会員として大橋バスターガバナーが聞き手にまわり参加されました。セミナーを聞いて「職業を通して人間性を磨き自分の職業の社会的地位を高めよう」題して初瀬 輝雄 地区副委員長の話の中に目立たないながらも自分の職業に誇りを持ち地道に工夫をして仕事に取り組んでいる方の実例を上げ真の職業奉仕とは何かを学ぶ事が出来ました皆様のテーブルの上に資料を置いておきましたので、ご覧ください。

他に資料として当クラブOBの佐藤信博が書いた「ロータリー事始」が紹介されておりました。9月22日と23日の二日間、東北地区ローターアクターが毎年持ち回りで「東北鍋フェス」が開催されます東北各地の名物鍋をお互いに振る舞い、士気を高め東北の絆をさらに深めよう国際ロータリー2530地区が引継企画しております22日は午後1時から4時まで福島市荒井にありますが水林自然林で、23日は午前10時から午後2時まで福島市陣場町にありまサンカク広場に開催されます、災害時の炊き出しレシピの紹介や東北4地区の鍋の試食もごぞいます「東北復興鍋フェス」の案内を各テーブル置きましたので都合のつく方は是非足を運んで頂ければ宜しくお願致します。当クラブでお引受致しました、交換留学生(ミゲイルさん)メキシコからよくこそいらっしやいました。12日の朝6時20分着成田空港で、私と菅野 良二 幹事と、地区の青少年奉仕委員会の喜多方RCの佐藤 正道 委員長と3人で出迎えました。中々改札口へ出てこなくて心配しましたが14時間の長旅にもかかわらず笑顔で出て来てホット致しました。ありがとうございました。

交換留学生の紹介



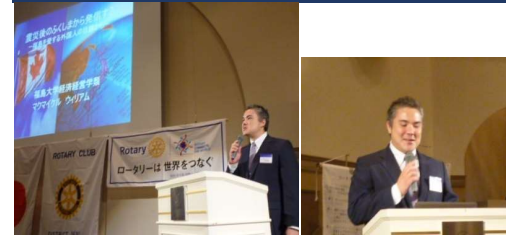
メキシコからの交換留学生
ミゲイル・フィリップ・オスナ・ガルシアさんです。
横山りつ子カウンセラーから紹介がありました。
明日から成蹊高校へ通学の予定です。
ロータリークラブ会員の皆様これから宜しく
お願い申し上げます。

☆☆☆ 新入会員入会式 ☆☆☆



新会員入会式では入会証書授与、バッジ他
七つ道具の授与が行われました。
お二人の紹介者小坂和也会員。カウンセ
ラーは 塩澤智裕さんは野地利雄会員。
木村昇さんは廣澤樹樹会員です。

ゲストスピーチ マクマイケル・ウィリアム様



福島大学経済経営学類助教・国際交流センター副センター長のマクマイケル・ウィリアム様。カナダ、バンクーバー出身。専門分野はグローバル教育、通訳学。2017年からあったかふくしま観光交流大使に任命。2019年に福島大学学長教育賞受賞(グローバル教育)。新渡戸稲造に幼少の頃から憧れ、日本とカナダの架け橋になることを目指し英語と日本語の学習を続ける。カナダで通訳として5年間働いた後、

JET Program という日本国の制度を通して、福島県に国際交流員として採用され2007年に移住。現在は、外務省の広報誌で「カナダ人の福島ファン」として特集されたほど、福島県に対して強い情愛と愛着を持っている。2010年までは福島県国際交流協会に勤めながら、特に、カナダの「違いは豊かさ」という概念に基づいた講座を県内全ての市町村で実施し、福島を多文化から生まれる豊かさに溢れる地域にすることを目指す。2010年秋から福島大学に転職。その半年後に東日本大震災を経験。震災後は様々な復興事業に携わる。また、海外における多重災害の誤った報道や、「印象災害」に直面し、自分の知っている福島のと姿とのギャップに、激しい憤りを覚える。震災前からずっと支えてくれた大好きな地域の方々と、福島県への恩返しに機会と捉え、震災後から海外に向けて福島を現状を正しく伝えることをライフワークにすることを決意。福島を海外に伝える教育プログラムを立ち上げ、グローバルな人材育成を目指している。震災から9年近く経つ今でも、Google 画像検索などで出る Fukushima の画像は偏見と脚色が多い。中には、千葉の石油コンビナート火災の写真など、福島とは無関係の写真が、これ見よがしに福島の実況として検索結果の上位に出ている。2018年夏に配信されたNetflix 番組 Dark Tourist では、福島を危険な場所として脚色した演出で紹介し、さらには食材を被ばく食材呼ばわりするなど、福島を面白おかしく取り上げた番組が配信され、大きな話題に。海外の多くの視聴者は、内容を完全に鵜呑みに。これからの情報発信の鍵は、「何を」話すかではなく、「誰が」話すか。Dark Tourist が鵜呑みにされた要因として、前述する関心の薄れに加え、番組に出てくる日本人ガイドを視聴者の多くが信用してしまったことが考えられる。信用できる人からの情報発信は、どんなに日本政府や国際機関が発信する情報よりも、信憑性が高い。

「OUR FUKUSHIMA」プロジェクト。福島大学に在学する交換留学生を中心としたメンバーで構成、a) Youtube チャンネルの開設と運営。2019年9月現在、以下のコンテンツが作られ配信され、2000回再生されている1、こけし祭りとかけし美人コンテスト出場2、福島誤解を解くファクトチェックビデオ3、福島での田植え体験4、福島のスウィーツ体験5、相馬野馬追体験。b) ソーシャルメディアの運営・福島県の海外向け SNS のコンテンツ投稿とマネジメント・福島県の海外向けインスタグラムの展開200以上のフォロワー、6000以上のイイね!等のリアクションなど、広いアウトリーチ。Fukushima Ambassadors Program (通称FAP)にも、今回の基金を活用して学生の参加補助をさせていただいた。FAPとは、2012年以降これまで14回実施されている福島大学の短期留学プログラム。海外の協定大学から放射線科学や社会学を学ぶ優秀な留学生を約2週間のプログラムに招き、本学の学生と共に被災地などをまわりながら、英語で福島「過去」、「現在」、そして「未来」の諸課題について理解を深める事を目指している。今後の展開は、今年度のプログラムを軸に、10月から授業の一環として、情報発信を今後も続け、その効果性を統計的に検証する。

9月25日(水)の例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト唱和
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. ゴルフコンペ報告
6. スマイリングBOXの報告
7. 福島成蹊高校/奨学金授与、校長先生ご挨拶、IAC年次大会報告
8. 各委員会報告
9. 閉会点鐘

一 例会予定 一

- ・9月25日(水) 福島成蹊高校(奨学金授与・私の夢発表)
- ・10月2日(水) 誕生祝い、新会員スピーチ、会員スピーチ
- ・10月9日(水) 新会員歓迎夜間例会
- ・10月16日(水) ゲストスピーチ、米山奨学生スピーチ
- 地区・その他行事
- ・9月28~29日(土日) 日韓親善会議
- ・10月2日(水) 第1回バスター会長(指名準備委員会)/おりおり
- ・10月12日(土) 派遣学生選考会
- ・10月19日(土) 地区大会記念ゴルフコンペ